

関係資料

**模擬授業
シンポジウム**

模擬授業において示した「3つの見届ける」を確実に行うための「ポイント」

○実態を見届ける

- ①「前時の学習内容」の定着状況を見届ける
 - ・定着が不安の子は誰か
 - ・「自分の力で」できるようになっているか
- ②「本時につながる既習内容」の定着状況を見届ける

○学習状況を見届ける

- ①「本時につながる既習内容」の定着状況を見届ける
⇒意図的な個別指導に生かす
 - ・つまづく可能性のある子どもを予測
 - ・つまずきを乗り越えさせるための手立ての準備
(言葉がけ、分かっていない子を集める等)
- ②分かった子だけで進めない
 - ・聞き手の「表情」と「つぶやき」を捉える
 - ・「分かったことは何ですか」と問い返す

○定着状況を見届ける

- ①「視点」の明確化（キーワード等）
- ②「時間」の確保
- ③「教師」が確認（定着が不安な子）
- ④「子ども自身」が確認（ペア活動等）

※学んだことの一層の定着

⇒他の場面や日常生活の中で使う

→家庭学習へ

◆シンポジウム

【テーマ】

学力向上を図る私の試み

～管理職・学力向上推進教師として、リーダーシップを発揮して、
どんな改善に取り組むのか～

【コーディネーター・シンポジスト】

学力向上推進教師、小学校長、市町村教育委員会指導主事 6名

